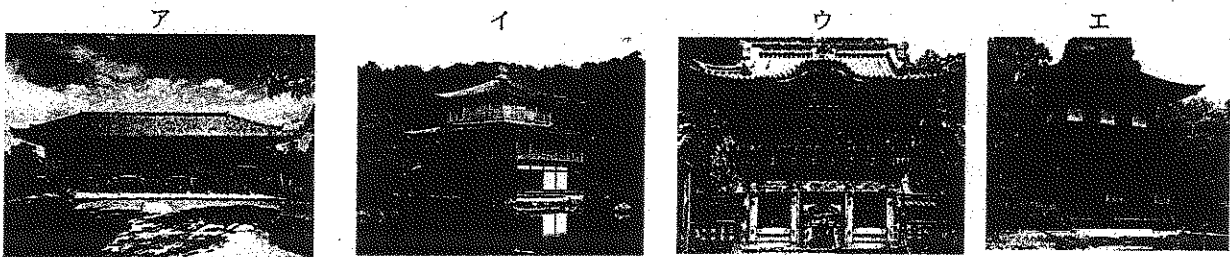


社 会

1 次のA～Eの文章は、日本と他の国や地域とのかかわりについて、時期の古いものから順にまとめたものです。これを読んで、あとの各問いに答えなさい。

A	7世紀から9世紀にかけて、日本からは、中国（唐）を目ざして、多くの人々が海をわたりました。日本から中国への使節である遣唐使の人々です。朝廷から任命された大使の他に、留学生や留学僧、通訳などが使節に加わりました。 当時は、造船や航海の技術がまだ発達していなかったため、途中で難破したり漂流したりすることも多く起こり、航海は命がけでした。無事に中国までたどり着けても、帰りに遭難したり、中国で一生を終えたりした人もいました。
B	13世紀に中国を支配したモンゴル人は、国号を元と定め、朝鮮を従えました。そして、日本も従えようとして、何度か使いを送ってきました。幕府がこれをこぼむと、元は、2度にわたって九州北部にせめてきました。 幕府の執権北条時宗は、御家人たちを九州に集めて、元の大軍と戦いました。1度めの戦いでは、御家人たちは、新兵器を使って集団戦法で戦う元軍の攻撃に苦戦しながらも、これを退けました。7年後、元は再びせめてきましたが、御家人たちの抵抗や暴風雨にあい、大きな損害を受けて引きあげました。この2度にわたる元軍の襲来を、元寇といいます。
C	17世紀の初め、幕府は、貿易の利益を考えてキリスト教を許していました。しかし、しだいに信者たちが団結して幕府の命令をきかなくなることをおそれるようになり、主としてキリスト教を禁止し、家光のころには、日本人が海外へ行くことも、海外から帰ることも禁止しました。 幕府は、貿易の相手を、キリスト教を広めるおそれのないオランダと中国に限り、貿易港も長崎だけとしました。このような状態を鎖国といいます。こうして、外国の情報や貿易の利益は、幕府が独占するようになりました。
D	19世紀の終わりごろ、日本は、朝鮮に不平等な条約を結ばせて、勢力を広げようとしていました。そのため、朝鮮への支配を強めようとする中国（清）との対立が深まっていきました。 1894年、朝鮮で、国内の改革と外国勢力の撤退を求める反乱が起こりました。清が、朝鮮政府の求めに応じて軍隊を送ると、日本もこれに対抗して出兵し、日清戦争が始まりました。
E	1931年、日本軍は、南満州鉄道の線路を爆破し、これを中国軍のしわざであるとして、攻撃を始めました。これを満州事変といいます。満州全土を占領した日本軍は、満州国をつくり、政治の実権をにぎりました。さらに、国内では、一部の軍人が首相を暗殺したり、反乱を起こしたりして、政治に対する発言力を強めていきました。 1937年7月には、ペキン（北京）の近くで日本軍と中国軍が衝突し、これをきっかけに日中戦争が始まりました。戦争は、8月にはシャンハイ（上海）、12月にはナンキン（南京）と、中国各地に広がっていきました。

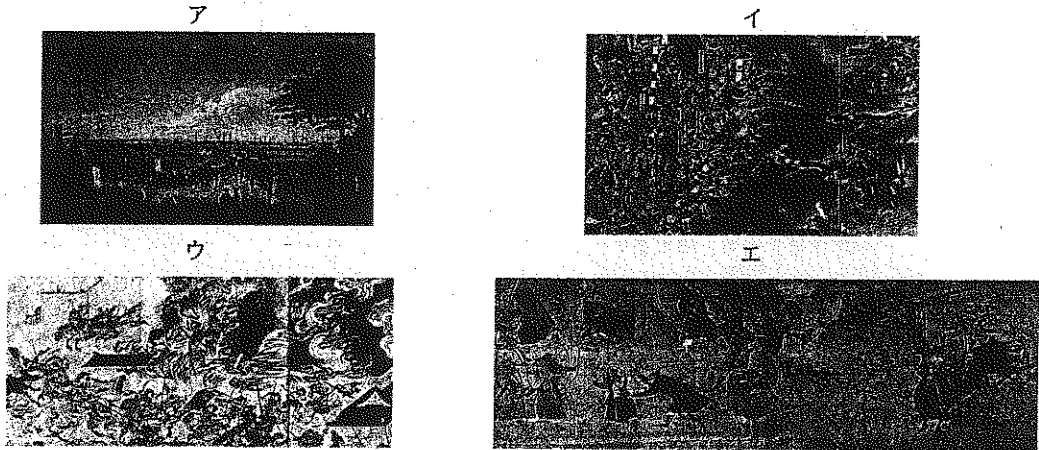
(1) Aの下線部の「遣唐使」によって、大陸の文化や文物が日本にもたらされました。大陸から伝えられた当時の品物が多く納められている「建物」を、次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。



- (2) AとBの間の時期の社会のようすについて述べた次の文のうち、まちがっているものを1つ選び、記号で答えなさい。
- ア. 大陸の影響に学びながら、風土や生活に合った日本風の文化（国風文化）が生まれた。
- イ. 貴族の屋敷の中は、日本の風景などをえがいたあざやかな大和絵でかざられた。
- ウ. 漢字をくずしたひらがなや、漢字の一部をとったかなががつくられた。
- エ. すぐれた焼き物をつくる技術をもつ人々が連れてこられて、有田など各地で焼き物の生産が始まった。
- (3) BとCの間の時期のできごとや社会のようすについて述べた次の文のうち、まちがっているものを1つ選び、記号で答えなさい。
- ア. ポルトガルやスペインの商人もやってきて、貿易を行うようになり、ヨーロッパの品物や文化が日本にもたらされた。
- イ. 京都で、将軍のあとつぎ問題をめぐって、室町幕府の有力な守護大名どうしの対立が深まり、応仁の乱が起こった。
- ウ. 信長は、安土に城を築いて全国統一の拠点とし、商人たちの営業や交通を取りしめる関所を設けた。
- エ. 国内を統一した秀吉は、中国（明）を征服しようと考え、2度にわたって朝鮮に大軍を送った。

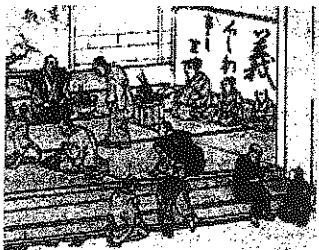
社 会

(4) Bのできごとのようなすを描いた絵画資料を、次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。



(5) Cの下線部の「鎖国」のもとでも、いくつかの地域では、他の国や地域との交流が行われました。これについて述べた次の文のうち、まちがっているものを1つ選び、記号で答えなさい。

- ア. 朝鮮との間では、対馬藩を窓口にして貿易が行われた。
- イ. 松前藩は、アイヌの人たちと交易を行い、アイヌの生活や文化を保護した。
- ウ. 幕府は、薩摩藩を通じて琉球に力をおよぼすようになった。
- エ. 朝鮮通信使が日本をおとずれ、この交流を通して、朝鮮や中国の文化が伝えられた。



(6) 右の絵は、Cの下線部と関わりで行われていたことをあらわしています。何のために、何をしているのか、できるだけ詳しく説明しなさい。

(7) DとEの間の時期の社会のようすについて述べた次の文のうち、まちがっているものを1つ選び、記号で答えなさい。

- ア. 都市では人口が急速に増えて、西洋ふうの住宅に住み、ガスや水道、電気を使う生活が広がった。
- イ. 米などの生活必需品が値上がりしたことに対して、各地で「世直し」を求める一揆や打ちこわしが激しくなった。
- ウ. デパートができたり、私鉄やバスの運行が始まったりするなど、都市での生活は近代的なものになった。
- エ. 国民一人一人の考えを政治に生かそうとする民主主義の考え方が広まり、普通選挙を要求する運動も高まった。

(8) Dの下線部の「日清戦争」の結果や影響について述べた次の文のうち、まちがっているものを1つ選び、記号で答えなさい。

- ア. 日本は清に勝利し、台湾やリヤオトン（遼東）半島などを領土にしたほか、多額の賠償金を得た。
- イ. 清に朝鮮の独立を認めさせ、日本は、朝鮮へ勢力をのぼす足がかりをつかんでいった。
- ウ. 日本国内では、満州（中国の東北部）で勢力を広げるアメリカに対する危機感が高まり、アメリカと戦うべきだとする意見が強くなった。
- エ. 満州に力をのぼそうとしていたロシアは、ドイツ、フランスとともに、リヤオトン半島を清に返すように日本に要求し、これを認めさせた。

(9) Eの下線部の「日中戦争」のあと、日本は多くの国々と戦争を拡大していきました。これについて述べた次の文のうち、まちがっているものを1つ選び、記号で答えなさい。

- ア. 日本軍は、占領した首都ナンキン（南京）で、ほりよにした兵士をはじめ、多くの人々の生命をうばった。
- イ. 占領した東南アジア各地や太平洋の島々で、日本軍は、住民を労働にあたらせたり、戦争に必要な資源や食料を取り立てたりした。
- ウ. 報道や出版などの内容は、国の方針に沿うように制限されるようになり、国民は、戦争の状況について正確な情報を知ることができなかった。
- エ. 日本軍は、海外の各地で敗北を重ね、全国の都市が空襲で焼かれて多くの人々が死傷し、さらに沖縄も占領されたため、政府や軍の指導者はただちに戦争をやめる決断をした。

(10) Eの戦争のあと、中国との国交が正常化し、友好や信頼の関係を築いていくことになったのは何年ですか。その年を次のア～オから1つ選び、記号で答えなさい。

- ア. 1946年 イ. 1951年 ウ. 1964年 エ. 1972年 オ. 1991年

社 会

② 日本の気候区分をあらわした右の略地図を見て、次の各問いに答えなさい。

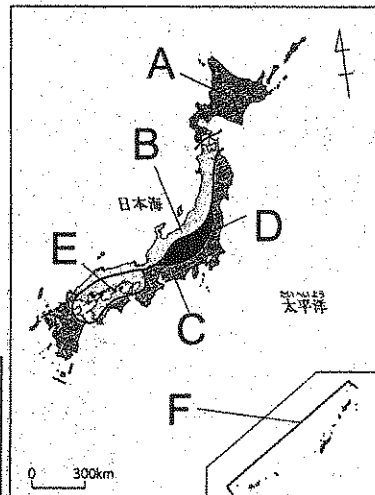
(1) 次の説明文は、A～Fのどの地域の気候の特徴を説明したものですか。A～Fから1つ選び、記号で答えなさい。

夏と冬の季節風が山地にさえぎられるので、晴天の日が多く、日本の中でも一年を通じて降水量が少ない地域です。そのため、水不足になりやすく、かんがい用ため池や用水路をつくって農業がおこなわれてきました。

(2) 次の表は、Dの地域にある「松本市」(長野県)の月別の平均気温と降水量を示したものです。これをもとに解答用紙の気温と降水量を表したグラフを完成させなさい。

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
平均気温(℃)	-0.4	0.2	3.9	10.6	16.0	19.9	23.6	24.7	20.0	13.2	7.4	2.3
降水量(mm)	35.9	43.5	79.6	75.3	100.0	125.7	138.4	92.1	155.6	101.9	54.9	28.1

(気象庁ホームページより)



(3) Dの地域のある場所で行われている農業のようすについて述べた文を、次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。

ア. 冬も暖かい気候を利用して、花の栽培がさかんである。特に菊は、他の地域の気温が下がる冬の時期に、全国に向けて出荷される。また、台風が多く来る地域でもあるので、台風の被害にあいにくい作物も育てている。

イ. 冬には厳しい寒さになり、最高気温が0度にならない日何日も続くので、寒い気候のもとでも育てやすいじゃがいもや、てんさいなどの生産がさかんである。

ウ. 夏でもあまり気温が上がらない標高が高い土地なので、レタスやキャベツなどの高原野菜が栽培されている。収穫された野菜は、高速道路を使って東京などの市場に届けられる。

エ. 温暖で日照時間の長い気候を生かした野菜づくりがさかんである。他の産地からの出荷が減る冬から春に出荷できるように、なす、ピーマン、きゅうりなどの野菜がビニールハウスを利用してつくられている。

③ 太郎くんのクラスでは、自動車工場の見学と米づくり農家について調べた内容を、次のようにまとめました。これを読んで、あとの各問いに答えなさい。

【自動車工場】

自動車工場では、ラインにそって多くの人々やロボットが作業しています。さまざまな種類の自動車を同じラインで次々に組み立てています。1台ごとに車体の色や取り付ける部品がちがうので、まちがえないようにコンピューターで管理しています。また、工場には、小さな部品を組み合わせて、ひとまとまりのセットをつくるラインも設置されています。すでに組み合わせた部品のセットを自動車に取り付けることで、一つ一つの部品を取り付けていくよりも、効率よく生産を進められます。

【米づくり農家】

米づくりは、雪の残る3月ごろ、種もみを選ぶ作業から始まります。苗づくりや田おこしの時期には、じょうぶな苗と栄養分のあるよい土をつくるのが大切です。田植えのあとは、雑草を取りのぞいたり、肥料をあてたりするなどの仕事があります。稲刈りや脱穀、出荷まで、米づくり農家の人は安全・安心な米を作るためにたくさんの手間をかけ、いろいろな生産の取り組みや工夫をしながら作業しています。

(1) 自動車工場で使われている文中下線部の「部品」について述べた次の文のうち、まちがっているものを1つ選び、記号で答えなさい。

- ア. 1台の自動車をつくるために必要な2万～3万個ほどの部品の多くが、関連工場で作られている。
 イ. 部品が自動車工場にすぐにとどけられるように、自動車工場の近くの関連工場生産される部品だけを使っている。
 ウ. 組み立て工程に必要な部品は、必要な時刻までに、関連工場から自動車工場に送りどけてもらうことになっている。
 エ. 関連工場で作られている部品は、自動車工場が組み立てる作業に合わせて、必要な量だけつくってとどけられている。

社 会

(2) 自動車が組み立てられ、できあがるまでの作業について述べた次のア～オの文を、自動車が完成する工程順に並び替え、記号で答えなさい。

- ア. 車体をきれいにあらった後、色の塗りつけを何度も繰り返す。
 イ. プレス機械で鉄の板を折り曲げたり、打ちぬいたりする。
 ウ. ロボットが部品をつなぎ合わせて、溶接をしていく。
 エ. ブレーキや水もれなど、厳しいたくさんの検査をしていく。
 オ. 各ラインで数人ほどのチームを組み、作業を分担して自動車の部品を取り付ける。

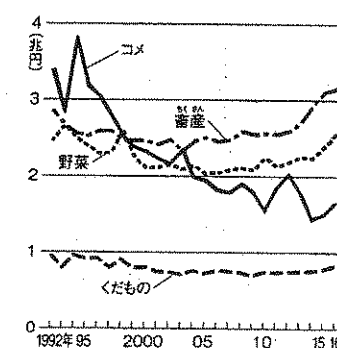
(3) 米づくり農家で行われている文中下線部の「生産の取り組みや工夫」について述べた次の文のうち、まちがっているものを1つ選び、記号で答えなさい。

- ア. 水の管理をするとともに、雑草や害虫を食べてくれるカモを水田に放すことで、農薬をまく回数をおさえている。
 イ. 水田の形を広く整える耕地整理と同時に、用水路と排水路の整備も行い、大型の機械を使った米づくりを進めている。
 ウ. たい肥を使いすぎると、自然や人体への影響が心配されるため、かわりに化学肥料を使った米づくりが行われている。
 エ. 農業試験場で開発された、土地や気候にあった新しい稲の品種を使って、品質の良い育てやすい米を作っている。

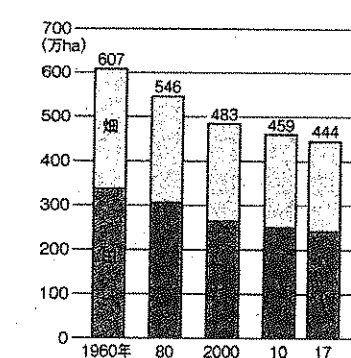
(4) 次のア～エの文は、米づくりなどの日本の農業における課題や現在のようすについて述べています。下の図Ⅰ～図Ⅴの資料を参考にして、まちがっているものをア～エから1つ選び、記号で答えなさい。

- ア. 農業機械の広まりとともに、米づくりの作業時間は短くなり、農業で働く若い人たちの割合が近年増えてきている。
 イ. 水田の面積も減り、米の生産調整も影響して、ここ10年の間、米の生産額は野菜や畜産の生産額に比べて低くなっている。
 ウ. 2017年の耕地面積は、1960年ころと比べると、約4分の3まで減り、農作物が作付けされない土地が増えてきている。
 エ. 農業で働く人の数は減少し続けていて、2017年では2000年当時と比べても、半分以上になっている。

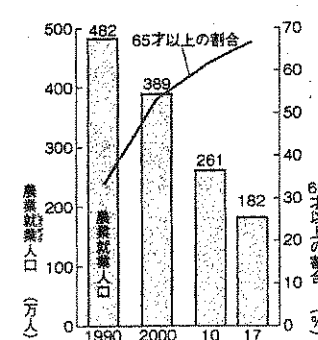
図Ⅰ おもな農作物の生産額の変化



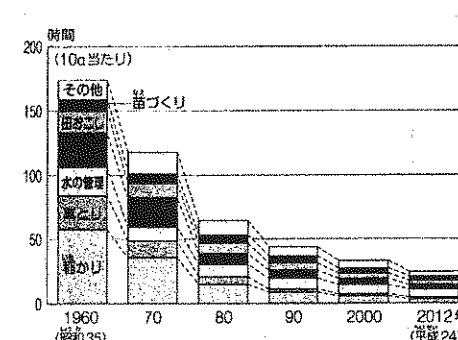
図Ⅱ 耕地面積のうつりかわり



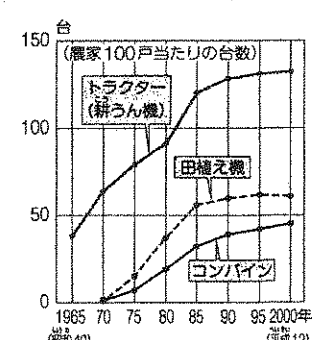
図Ⅲ 農業で働く人と高齢化



図Ⅳ 米作りの作業時間の変化



図Ⅴ 主な農業機械の広まり



(図Ⅰ～図Ⅲは『日本のすがた2018』より)

(図Ⅳ・図Ⅴは「農林水産省調べ」)

社 会

- ④ あかねさんは小学校の社会科の学習で学んだことをもとに、意見投稿文を新聞社に送ることを考えています。
次の意見投稿文を読んで、あとの各問いに答えなさい。

「世界じゅうの人々と共に、よりよく生きたい」

わたしたちの暮らしはさまざまなところで政治と結び付いています。国の政治の基本的なあり方や仕組みなどを定めている国の最高のきまりを憲法といい、日本国憲法では、すべての人が生まれながらにして自由で平等であることや、だれもが幸せに暮らす権利を基本的人権として国民に保障しています。駅や病院、道路などの公共施設に、バリアフリーやユニバーサルデザインの考え方が取り入れられているのも憲法の考え方にもとづいています。

2016年には、これまで20才以上だった選挙権が18才から認められるようになり、わたしたちもあと6年すれば、国会議員を選び、国の政治に参加することができます。これは政治の進め方を決める権利を国民がもっている「国民主権」という考え方にもとづいています。

日本国憲法には3つの原則があり、これまで述べてきた「基本的人権の尊重」と「国民主権」以外に「平和主義」というものがあります。

平和主義は、

わたしは、この平和主義という考え方は、日本のみならず、国際社会においても通じる考え方だと思います。

世界に目を向けると、世界の平和と安全を守り、国と国との争いを話し合いによって解決することを目的として、1945年に国際連合がつくられ、多くの国々が加盟し、さまざまな問題を平和的に解決できるよう、協力しあっています。

わたしは「世界じゅうの人々と共に、よりよく生きたい」という願いを持って、お互いの権利を尊重し、将来世代のことも考え続けながら、行動に結びつけていきたいです。

- (1) 文章中の下線部「国の政治」「日本国憲法」についての説明として、まちがっているものを2つ選び、記号で答えなさい。

- ア. 国会には衆議院と参議院という2つの議院があり、慎重な話し合いを行って決定するしくみになっている。
イ. 大日本帝国憲法で主権者だった天皇は、日本国憲法では日本の国や国民のまとまりの象徴とされ、政治については権限をもたないとされた。
ウ. 内閣で決められた予算や法律にもとづいて、国民全体のためのいろいろな仕事を責任をもって行うのが国会である。
エ. 国民はだれでも裁判を受ける権利をもっていて、判決の内容に不服がある場合は3回まで裁判を受けられる制度がある。
オ. 刑罰が重い犯罪の裁判に限って、国民が裁判員として参加し、裁判官と話し合って判決を出す裁判員制度がある。
カ. 国会・内閣・裁判所の3つの機関が、一つのところに権力が集まることのないように仕事を分担している。
キ. 内閣総理大臣は国民の直接選挙によって選ばれ、国務大臣を任命して内閣を組織し、政治を進めていく。
ク. 日本国憲法では、さまざまな権利が保障されているだけでなく、国民に対して、教育を受けさせる義務、働く義務、税金を納める義務の3つの義務についても定めている。

- (2) 文章中の〔 〕に「平和主義は、」で始まる意見投稿文の続きを書きます。次の条件にしたがって、解答用紙に文章を書きなさい。

条件

- ・平和主義の原則が日本国憲法に取り入れられた理由を、過去のできごとをふまえて書くこと。
- ・「戦争」「戦力」という言葉を用いて、平和主義の内容について説明すること。
- ・文字数は50字以上100字以内で書くこと。

受検 番号		氏 名	
----------	--	--------	--

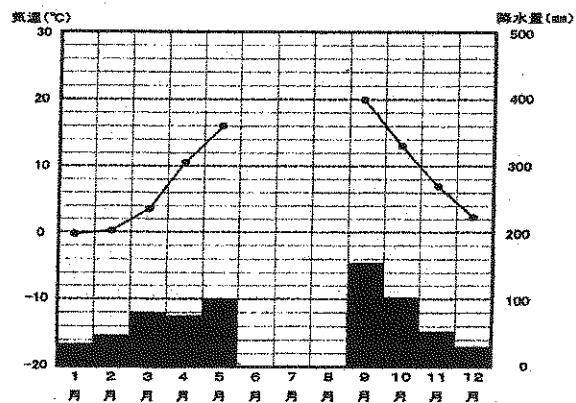
得点	
----	--

1 (1)  (2)  (3)  (4)  (5) 

(6)

(7)  (8)  (9)  (10) 

② (1)  (2)  (3) 



3 (1)  (2) 

(3)  (4) 

[illegible]